

令和8年度 全国学力・学習状況調査についての報告

今年の4月に全国の小学校6年生、中学校3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。文部科学省より開示されました本校の結果をお知らせいたします。この調査で測定できるのは学力の特定の一部分であり、全体的な傾向は、すべての児童に該当するものではないことをご理解ください。

【調査結果について】

<国語>

全国の平均および神奈川県の前年と比べ上回っています。特に「読むこと」の項目が全国の平均を大きく上回っています。

分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
				貴校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
全体			13	62	61	60.9
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	4	65.8	65.2	66.8
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	55.3	53.3	52.3
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	63.2	66.9	65.8
		B 書くこと	2	46.1	46.3	45.7
		C 読むこと	2	76.3	66.2	65.9
評価の観点		知識・技能	6	62.3	61.2	62.0
		思考・判断・表現	7	62.0	60.8	60.1
		主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式		選択式	9	64.0	63.1	61.9
		短答式	2	56.6	59.6	62.6
		記述式	2	59.2	53.1	54.9

引き続き、基礎基本が定着するよう、学習方法や学習形態を工夫していきます。読書をしたり、新聞を読んだりという経験を日常の中で増やしていくことができるよう、学習の中でも取り上げていくようにします。また、記述式の問題にも苦手意識をもたずに取り組めるように、日ごろから筆者の考えや自分の考えを文章で表す機会をもっていきます。

<算数>

全国の平均および神奈川県の前年と比べ上回っています。すべての項目で、全国の平均を少しずつ上回っていることから、全国とほぼ同じような傾向にあることが分かります。

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
全体		16	59	58	56.4
学習指導要領 の領域	A 数と計算	8	65.1	62.6	61.1
	B 図形	4	59.9	57.0	55.3
	C 測定	1	84.2	79.7	78.1
	C 変化と関係	3	49.1	44.2	41.1
	D データの活用	4	50.7	49.4	48.6
評価の観点	知識・技能	12	61.8	61.6	60.1
	思考・判断・表現	4	52.0	46.2	45.4
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	5	58.9	57.5	56.0
	短答式	8	61.5	61.2	59.7
	記述式	3	54.4	48.9	48.5

引き続き、授業で学んだ学習内容をしっかりと定着させるための復習や、ドリルなどで繰り返しの練習に取り組み、正確な計算力をつけ、確実に理解できるようにしていきます。また、中学に向けて、授業の復習や自分の課題に対する学習を自ら計画的に行えるよう、支援していきます。

これまでと同様に、学習したことに対して自分の考えを書いたり、自らの言葉でまとめたりする機会を多くもち、わけを話したり説明をしたりすることも積極的に授業の中に取り入れていきます。学力向上に向け、子どもの意欲と毎日の授業を大切にしながら、各ご家庭と連携して、基礎的基本的な学習内容の定着を図っていきます。

生活意識調査においては、「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」などの項目が全国や神奈川県の前年を上回っており、規則正しい生活を送れている児童が多いことが分かります。また「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」や「5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」の設問には「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的に回答している児童が、全国や神奈川県の前年よりも多かったです。逆に家庭での学習時間は神奈川県の前年を下回っていることが分かりました。

この結果を踏まえつつ、職員一同力を合わせ、子どもたちがより充実した日々を送れるよう、支えていきたいと思っておりますので、今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。